

科目名 「看護学・生体管理学」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	石橋 肇・神 尚子
科目ナンバリング	C-10-⑦-I-31	
単位数	2	
学習目標 (G I O)	安全で快適な歯科治療を提供するために、看護学と生体管理学を理解する。	
担当教員	★石橋 肇 ★神 尚子 ★戸倉 直美	
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士のための看護学大意 第3版 医歯薬出版株式会社 ・歯科衛生士版 全身管理と救急蘇生法・監修 渋谷 敏・学際企画 	
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・救急蘇生法の指針〈2015〉市民用・解説編 改訂5版・監修 日本救急医療財団心肺蘇生法委員会・へるす出版 ・歯科麻酔学 第7版・金子讓監修・医歯薬出版 ・スタンダード全身管理・歯科麻酔学 第3版・編集 小谷順一郎・学建書院 	
評価方法 (E V)	平常試験を2回行いその平均点を最終評価とする。なお、各平常試験における再試験は行わない。ただし、最終評価が60点に達しない場合には、追再試験期間に全範囲における再試験を行う。	
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>安全、安心な歯科治療のためには生体管理学の知識は必要不可欠である。また、歯科衛生士としてはもちろんのこと一般市民として救急処置が必要な場面に遭遇した場合、すぐさま自信を持って対応のできる能力を身につけるよう、真剣な態度で授業に臨んで欲しい。</p> <p>歯科衛生士に必要な基本的看護知識と技術を楽しく学びましょう。</p> <p>月曜日16:30～17:30</p>	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/8	病院における歯科衛生士の役割	<p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療チームの一員としての歯科衛生士の役割を理解する。 <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士の3本柱を述べるができる。 ・病院内における歯科衛生士の役割を具体的に述べるができる。 	★神 尚子 ★戸倉 直美
	看護の概念	<p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護の歴史から看護とは何かを学ぶ。 ・看護の定義と健康の定義について理解する。 ・看護の対象を理解し、看護の基本的役割を学ぶ。 <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護の基本的役割を説明できる。 ・看護の対象・特徴を説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習時間：20分 ・予習内容：教科書より「歯科衛生士の役割」「看護の対象の特徴・基本的役割」を理解しておく。 ・復習時間：30分 ・復習内容：講義資料より講義内容を復習し理解する。 <p>【アクティブラーニングの有無】</p> <p>無</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p>	

<p>第2回 4/15</p>	<p>バイタルサイン ① 体温 ② 脈拍 ③ 呼吸 ④ 血圧</p>	<p>【授業の一般目標】 ・バイタルサインとは何かを理解する。 ・バイタルサインの測定が正確にできる。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ・バイタルサインとは何か説明できる。 ・バイタルサインの正常値を述べることができる。 ・バイタルサインの測定部位を述べることができる。 ・脈拍・血圧を測定できる。 【準備学習項目・時間】 ・予習時間：30分 ・予習内容：教科書よりバイタルサインについて学習しておく。 ・復習時間：30分 ・復習内容：講義資料より講義内容を復習し理解する。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義 実習</p>	<p>★神 尚子 ★戸倉 直美</p>
<p>第3回 4/22</p>	<p>患者とのコミュニケーション 患者への支援 患者の安全と安楽</p>	<p>【授業の一般目標】 ・患者の年代別特徴を理解する。 ・小児、高齢者、障害者の特徴を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ・患者の年代別特徴とその対応が説明できる。 ・小児、高齢者、障害者への接し方と看護のポイントを説明できる。 【授業の一般目標】 ・安楽への援助とは何かを学ぶ。 ・安楽な体位の工夫が理解できる。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ・安楽を図るための看護用品を説明できる。 ・体位の種類を説明できる。 ・体位変換の手順を説明できる。 【準備学習項目・時間】 ・予習時間：30分 ・予習内容：教科書より「患者とのコミュニケーション」「患者への支援」「患者の安全と安楽について」学習しておく。 ・復習時間：30分 ・復習内容：講義資料より講義内容を復習し理解する。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★神 尚子 ★戸倉 直美</p>
	<p>摂食 その他の看護技術</p>	<p>【授業の一般目標】 ・栄養と食事の意義について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」 ・口腔疾患の症状にあわせた食事を説明できる。 ・摂取方法を説明できる。</p>	

<p>第4回 5/13</p>	<p>病院外来での業務</p>	<p>【授業の一般目標】 ・外来患者の特徴を理解する。 【行動目標 (SBOS)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ・全身疾患を有する患者の診療補助について説明できる。 ・患者の年代別特徴およびその対応が説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 ・予習時間:30分 ・予習内容:教科書より「摂食について与薬・吸引等について」「病院外来での業務」を学習しておく。 ・復習時間:30分 ・復習内容:講義資料より講義内容を復習し理解する。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★神 尚子 ★戸倉 直美</p>
<p>第5回 5/20</p>	<p>歯科麻酔学概論</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科麻酔学の概要とその歴史を理解する。 【行動目標 (SBOS)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 麻酔学の発達と歴史について述べるができる。 2. 麻酔学について説明できる。 3. 歯科麻酔の特殊性について説明できる。 4. 歯科麻酔における歯科衛生士の役割を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間:30分、予習内容:麻酔の歴史の概要を述べることができる。 復習時間:30分、復習内容:麻酔学の説明ができる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★石橋 肇</p>
	<p>全身状態の評価</p>	<p>【授業の一般目標】 全身状態の評価を理解する。 【行動目標 (SBOS)】 1. 全身状態の評価の重要性について説明できる。 2. 全身状態の評価に必要な項目について述べるができる。 【準備学習項目・時間】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 全身状態の評価を行うために必要な項目を列挙できる。 (30分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	

<p>第6回 5/27</p>	<p>局所麻酔法</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科治療に用いられる局所麻酔法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 局所麻酔法の定義を述べることができる。 2. 歯科で用いられる局所麻酔法の種類を説明できる。 3. 局所麻酔薬について説明できる。 4. 血管収縮薬の功罪について説明できる。 5. 局所麻酔に使用する器具とその取り扱いについて述べる ことができる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：局所麻酔法を説明できる。歯 科で用いられる局所麻酔法を列挙できる。 復習時間：30分、復習内容：局所麻酔薬に血管収縮薬を添 加する理由を説明できる。自律神経の働きを説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★石橋 肇</p>
<p>第7回 6/3</p>	<p>精神鎮静法</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科治療に用いられる精神鎮静法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 精神鎮静法の定義を述べることができる。 2. 笑気吸入鎮静法の説明ができる。 4. 静脈内鎮静法の説明ができる。 5. 鎮静法の利点・欠点を述べる ことができる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：精神鎮静法に使用する薬剤を 列挙できる。精神鎮静法の意義を説明できる。 復習時間：30分、復習内容：静脈内鎮静法の特徴を述べる ことができる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★石橋 肇</p>
<p>第8回 6/10</p>	<p>平常試験及び解説 講義</p>		<p>★石橋 肇 ★神 尚子 ★戸倉 直美</p>
	<p>入院を要する患者 の看護</p>	<p>【授業の一般目標】 ・口腔外科疾患を有する患者の基本的看護について理解す る。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ・口腔外科領域の特徴を理解し、入院患者の看護について説 明できる。 ・口腔疾患を有する患者の栄養について説明できる。</p>	

<p>第9回 6/17</p>	<p>口腔ケア</p>	<p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケアの必要性が理解できる。 ・摂食、嚥下障害のある患者に対する口腔ケアについて理解できる。 <p>【行動目標 (SBOS)】</p> <p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケアの目的を説明できる。 ・口腔ケアの方法・注意点を説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習時間：20分 ・予習内容：教科書より「口腔ケアについて」「入院を要する患者の看護」を学習しておく。 ・復習時間：20分 ・復習内容：講義資料より講義内容を復習し理解する。 <p>【アクティブラーニングの有無】</p> <p>無</p> <p>【学習法略 (LS)】</p> <p>講義</p>	<p>★神 尚子 ★戸倉 直美</p>
<p>第10回 6/24</p>	<p>救急時の看護</p>	<p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科治療時に発生する全身的偶発症を理解し適切な対応ができる。 <p>【行動目標 (SBOS)】</p> <p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神経性ショック及び過換気症候群の原因・症状・処置の要点を説明できる。 ・一次救命処置の流れが説明できる。 	<p>★神 尚子 ★戸倉 直美</p>
<p>第10回 6/24</p>	<p>洗浄・消毒・滅菌</p>	<p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗浄、消毒、滅菌の必要性を理解する。 ・器具・器材の洗浄・消毒・滅菌の流れを理解する。 <p>【行動目標 (SBOS)】</p> <p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗浄・消毒・滅菌の定義を説明できる。 ・消毒と滅菌の種類及び特徴を説明できる。 ・洗浄器の特徴を説明できる。 ・滅菌法の種類と特徴を説明できる。 ・滅菌の確認方法を説明できる。 ・滅菌物の保管と取り扱いについて説明できる。 ・滅菌室の一連の流れを説明できる。 <p>【準備学習項目・時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習時間：30分 ・予習内容：教科書より「救急時の看護」「洗浄・消毒・滅菌」を学習しておく。 ・復習時間：30分 ・復習内容：講義資料より講義内容を復習し理解する。 <p>【アクティブラーニングの有無】</p> <p>無</p> <p>【学習法略 (LS)】</p> <p>講義</p>	<p>★神 尚子 ★戸倉 直美</p>
<p></p>	<p>院内感染対策 医療安全対策</p>	<p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防の基本的な手技について理解する。 ・医療安全管理のための基本的な考え方を理解する。 <p>【行動目標 (SBOS)】</p> <p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準予防策の定義を説明できる。 ・個人防護用具の正しい着脱ができる。 ・衛生的な手洗いの手順を実施できる。 	<p></p>

<p>第11回 7/1</p>	<p>地域医療活動における歯科衛生士の役割</p>	<p>【授業の一般目標】 ・在宅医療における歯科衛生士の役割を理解する。 ・日常生活自立度判定基準を理解する。 【行動目標 (SBOS)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ・訪問口腔衛生指導の方法について説明できる。 (情報収集・訪問時のマナー・実際について)</p> <p>【準備学習項目・時間】 ・予習時間：30分 ・予習内容：教科書より「院内感染対策・医療安全対策」 「地域医療活動における歯科衛生士の役割」を学習しておく。 ・復習時間：30分 ・復習内容：講義資料より講義内容を復習し理解する。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★神 尚子 ★戸倉 直美</p>
<p>第12回 7/8</p>	<p>全身麻酔法</p>	<p>【授業の一般目標】 全身麻酔法について理解する。 【行動目標 (SBOS)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 全身麻酔の定義を説明できる。 2. 全身麻酔薬、前投薬、筋弛緩薬について説明できる。 3. 全身麻酔時の気道管理について説明できる。 4. 外来全身麻酔について説明できる。 5. 歯科における全身麻酔の特徴について述べる事ができる。 【準備学習項目・時間】 1. 全身麻酔に使用する薬剤を列挙できる。(20分) 2. 神経筋接合の興奮伝導を説明できる。(30分) 3. 全身麻酔時の気道管理法を列挙できる。(30分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★石橋 肇</p>
	<p>歯科における全身 的偶発症 (1)神経性ショック (2)過換気症候群 (3)局所麻酔薬中毒 (4)アドレナリン 過敏感症 (5)アナフィラキ シーショック</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科治療時に発生する全身的偶発症を理解する。 【行動目標 (SBOS)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 歯科における全身偶発症の原因・症状・救急処置および予防法を説明できる。 【準備学習項目・時間】 1. 神経性ショックを説明できる。(15分) 2. 過換気症候群を説明できる。(15分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	

<p>第13回 7/22</p>	<p>酸素療法 静脈路の確保 心肺蘇生法(二次 救命処置)</p>	<p>【授業の一般目標】 全身的偶発症発生時に必要な酸素療法、静脈路の確保及び二次救命処置を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 酸素療法の適応を述べることができる。 2. 酸素療法の方法を説明できる。 3. 静脈路の確保の重要性を説明できる。 4. 二次救命処置について説明できる。 5. 救命の連鎖における二次救命処置の役割を説明できる。 【準備学習項目】 予習時間：20分、予習内容：酸素療法の適応を列挙できる。静脈路の確保に必要な器材を列挙できる。 復習時間：20分、復習内容：二次救命処置の内容を列挙できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★石橋 肇</p>
<p>第14回 7/24</p>	<p>歯科治療時に全身 管理を必要とする 疾患 (1) 高血圧 (2) 虚血性心疾患 (3) 糖尿病 (4) 喘息 (5) 副腎皮質機能 低下症</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科治療時に全身管理を必要とする疾患について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. 歯科外来患者に合併する全身疾患の概要を理解する。 2. 全身疾患を有する歯科患者に対する基本的な注意事項を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：高血圧と虚血性心疾患を説明できる。 復習時間：30分、復習内容：糖尿病、喘息及び副腎皮質機能低下症を説明できる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★石橋 肇</p>
<p>第15回 7/25</p>	<p>生体監視モニター</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科治療時に使用する生体監視モニターについて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 1. バイタルサインについて説明できる。 2. 生体監視モニターの監視項目を列挙できる。 2. 生体監視モニターの画面を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：20分、予習内容：バイタルサインを説明できる。 復習時間：20分、復習内容：バイタルサインの正常値を述べることができる。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>★石橋 肇</p>